

# 第3次地域管理経営計画書

## 第3次国有林野施業実施計画書

(揖保川森林計画区)

(第二次変更計画)

計画期間 { 自 平成21年4月 1日  
至 平成26年3月31日 }

(変更年月 平成23年3月)

近畿中国森林管理局

# 目 次

## 〔地域管理経営計画〕

<b>1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項</b> .....	1
(4) 主要事業の実施に関する事項 .....	1
<b>5 国民参加による森林整備に関する事項</b> .....	2
(1) その他必要な事項 .....	2
イ 自主的な森林整備等へのフィールド提供 .....	2

## 〔国有林野施業実施計画〕

<b>3 林道の整備に関する事項</b> .....	3
<b>7 その他必要な事項</b> .....	6
(2) フィールドの提供及び文化財保全への貢献 .....	6

### 第3次地域管理経営計画（揖保川森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第6条第8項に基づき地域管理経営計画の一部を次のように変更します。

なお、本変更計画は、平成23年4月1日から効力を有します。

#### 【変更理由】

森林整備を行うために必要な林道の開設計画を変更します。

また、計画事項である「ふれあいの森」が設定されたことから関係する項目を追加します。

#### 【変更する内容】

#### 1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

##### (4) 主要事業の実施に関する事項

##### イ 主要事業の総量

本計画期間（平成21年度～平成25年度）において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりです。

##### (エ) 林道開設及び改良総量

単位：m

区 分	タ イ プ 別	開 設		改 良	
		路線数	延 長	箇所数	延 長
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	—	—	1	12
	水 源 かん 養 タ イ プ	8	11,400	60	2,227
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	3	540
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	—	—	—	—
資 源 の 循 環 利 用 林		—	—	—	—
そ の 他 (併 用 林 道)		—	—	10	200
計		8	11,400	74	2,979

## 5 国民の参加による森林の整備に関する事項

### (1) 国民参加の森林に関する事項

#### イ 自主的な森林整備等へのフィールドの提供

近年、森林に対する関心が高まり、ボランティア活動等を通じて一般市民が森林づくり参加する取組が増加している。このような取組は森林整備への貢献に加え、森林や林業に対する理解の増進を図る上で重要です。

このため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供として、鶏籠山、大成山国林において、より一層、森林・林業に関する理解を深めるために保育等の自主的な森林整備活動を行う「ふれあいの森」を設定しています。

#### 森林づくり活動へのフィールド提供一覧

協定の種類	面積 (ha)	位置 (国有林・林小班)
鶏籠山ふれあいの森	52	鶏籠山 574に～へ、か～ら1、く
大成山ふれあいの森	1	大成山 578ろ

### 第3次国有林野施業実施計画（揖保川流森林計画区）の変更について

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更します。

なお、本変更計画は、平成23年4月1日から効力を有します。

#### 【変更理由】

森林整備を行うために必要な林道の開設計画を変更します。

また、計画事項である「ふれあいの森」が設定されたことから関係する項目を追加します。

#### 【変更する内容】

#### 3 林道の整備に関する事項

地域管理経営計画の1の(4)のイの(エ)林道開設及び改良総量の路線別の内訳は次のとおりです。

単位：m

基幹・管理別	開設・改良別	路線名	箇所 (国有林・林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
基幹	開設	阿舎利 (広路山)林道	マンガ谷 80	1,800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		赤西林道	赤西 115	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
管理	開設	大外地林道	三室 16	400	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		阿舎利林道 瀬戸谷支線	阿舎利 72	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		中音水林道	音水 111	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		藤ヶ谷線	藤ヶ谷 19	2,800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		河原山線	河原山30 深山22	2,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		阿舎利 73林班線	阿舎利 73	2,000	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
計		8路線		11,400		

基幹 管理別	開設 改良別	路線名	箇所 (国有林・林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考	
基幹	改良	赤西林道	赤西 116・118・120 ・125・126	520	水土保全林 (水源かん養タイプ)		
		カンカケ 三室林道	民有地 赤西129	18	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所	
		赤西(音水) 林道	音水 104・106・107	540	森林と人との共生林 (自然維持タイプ)		
		阿舎利 (広路山)林道	民有地 マカ <sup>カ</sup> 谷79・80	420	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所	
		坂ノ谷林道	坂ノ谷 92,95	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)		
		縦木沼谷林道	民有地 阿舎利64	40	水土保全林 (水源かん養タイプ)		
	管理		梯林道	民有地 河原山	14	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
			中音水林道	音水 109・111	110	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
			大身谷林道	民有地 大身谷47	110	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
			銅山林道	民有地 阿舎利51・53	78	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
			赤西林道 砥石谷支線	赤西 123	15	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
			蓮花岩山林道	阿舎利 67～70	700	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
			縦木沼谷林道 志倉支線	阿舎利 55	15	水土保全林 (水源かん養タイプ)	

基幹 管理別	開設 改良別	路線名	箇所 (国有林・林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
管理	改良	岩上谷林道	河原山 27	30	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木林道 縦木支線	阿舎利 61~63	60	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木林道 志倉支線	民有地 阿舎利54・55	50	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		マンガ谷林道	マンガ谷 82	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		駒前林道	民有地 駒前99	30	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		音水林道 栃谷支線	音水 101	10	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		音水林道 櫛谷支線	音水 107・108	25	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		赤西林道 西の谷支線	赤西 122	12	水土保全林 (国土保全タイプ)	
		赤西林道 具舎利谷支線	赤西 124	40	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		カンカケ林道 赤西越支線	赤西 129	12	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		深山林道	深山 129	70	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		大外地林道	三室 16	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
計		26路線 (74箇所)	2,979			

(注) 種類欄の基幹は森林基幹道を、管理は森林管理道を指す。

## 7 その他必要な事項

### (2) フィールドの提供及び文化財保全への貢献

地域のニーズに対応した森林・林業に関する技術の開発・普及や国民による国有林野の積極的な整備・利用を推進するため、国有林野をフィールドとして積極的に提供します。

このため、国民各層のニーズの把握に努めるとともに、国有林の制度や管理運営の方針等について、積極的なPRを推進します。

また、国宝・重要文化財等の維持・修繕のための資材の確保・供給に取り組みます。

対象地 (国有林・林小班)	設定の目的	備 考
鶏籠山 574に～へ か～ら1、く	ふれあいの森	設定面積 52.17ha
大成山 578ろ	ふれあいの森	名 称：大成山ふれあいの森 相手方：揖西東地域推進委員会 設定面積 1.14ha
甲 山 540い、 増位山 543い、 西通山 568へ、 坂ノ谷 92い1、 鶏籠山 574と、う	檜皮採取対象林	平成13年12月27日 協定相手方：(社)全国社寺等屋根工事技術保存会 設定面積： 29.15ha
マンガ谷 79ね 阿舍利 76に、53と 大身谷 47へ 轆轤師山 45ま	文化財継承林	樹種：ケヤキ 設定面積 5.07ha